

令和4年度

第2期

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価結果報告書

令和5年12月

川越市

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

国では、進展する人口減少問題に国を挙げて本格的に取り組んでいくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、全国の現状と将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び5か年の国の施策の方向性を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市は、東京圏にありながらも、他の地方都市と同様、少子高齢化が進行する中で人口減少期を迎えることが予測されていることから、国の地方創生の動きを好機として活かし、人口減少問題及び経済規模の縮小等への対策に積極的に取り組むため、平成28年1月、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）を策定しました。当初の計画期間は平成27年度から令和元年度までの5年間でしたが、総合戦略に位置付けた事業の成果を着実に導き出すため、計画期間を1年間延長し、令和2年度までとしました。

令和3年度からは、令和3年3月に策定した「第四次川越市総合計画後期基本計画」に総合戦略の考え方を継承し、地方創生の取組を包含する形で進めています。

総合戦略のPDCAサイクル

総合戦略に位置付けた事業の実施にあたっては、効果的に推進するため、重要業績評価指標(KPI)を設定し、PDCAサイクルに基づき、適切に管理していくこととしています。

また、各施策の進捗状況や具体的な取組内容等に対する評価については、議会における意見や、川越市まち・ひと・しごと創生本部における学識経験者等の意見を聴きながら、毎年度必要な見直し等を行うこととしています。

このため、令和5年7月、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、総合戦略(Plan)に基づく令和4年度の実施事業について、進捗状況や具体的な取組内容(Do)について報告するとともに、産業界・大学・金融機関の外部有識者より意見を聴きながら、評価(Check)を行い、改善(Action)につながる知見をいただきました。

令和4年度事業の総括

令和4年度において、「旧川越織物市場の整備」及び「グリーンツーリズム拠点の整備」といったハード事業は見直し後のスケジュールにより、いずれも着実に推進しております。

ソフト事業は人々が対面で集う形式の事業が多く、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、実施に困難が伴った事業が多々ありました。令和4年度においてもオンラインを活用するなど実施形態を工夫し、事業を推進しました。

また、企業版ふるさと納税制度を活用し、民間企業の皆様から「グリーンツーリズム整備推進」事業、「旧川越織物市場活用推進」事業、「歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクル構築事業」、「食環境づくり推進事業」といった、寄附対象事業すべてに対してご寄附をいただくなど、官民連携により総合戦略事業を推進いたしました。

令和5年度以降につきましても、議会や川越市まち・ひと・しごと創生本部会議で頂いたご意見を十分に踏まえつつ、着実かつ効果的な事業の推進を図ってまいります。

令和5年度 川越市まち・ひと・しごと創生本部会議

開催日 出席者
第1回 令和5年7月 6日 本部構成員:出席者 13名

第2回 令和5年7月14日 本部構成員:出席者 11名

外部有識者:出席者 8名

いるま野農業協同組合 川越地域理事代表

川越商工会議所 専務理事

埼玉信用金庫 西部エリア エリア長 川越支店 川越南支店 執行役員支店長

埼玉りそな銀行 川越支店 営業第三部長

尚美学園大学 芸術情報学部情報表現学科 准教授

東京国際大学 副学長 商学部長

東洋大学 理工学部長

武蔵野銀行 川越支店 次長

新井 康夫

竹澤 穰治

石崎 篤史

柳 まみ

藤橋 誠

久米 勉

松元 明弘

井野 利幸

(選出母体五十音順、敬称略)

○第2期 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(令和4年度)

具体的施策

事業

具体的施策1

川越産業の活性化と
若者の地元就業

- 若者に対する川越就業のための情報提供支援
- 市内企業への販路拡大支援
- 既存産業に対する環境整備
- 創業支援

具体的施策2

文化創造拠点の形成と創業支援
(ものづくり長屋 川越)

- 旧川越織物市場の整備
- 旧川越織物市場の活用推進
- 立門前線(歴史的地区環境整備街路)の整備
- 創業支援(再掲)

具体的施策3

川越産農産物の魅力を広める
ブランドづくり

- 川越産農産物のブランド化事業
- おいしい川越農産物提供店認定制度

具体的施策4

川越を訪れるきっかけづくり

- DMO川越の運営支援
- シティセールスの推進
- 広域観光の促進事業
- アフターコロナを見据えたインバウンドの推進事業

具体的施策5

グリーンツーリズム拠点の整備
(蔵 in ガルテン 川越)

- グリーンツーリズム整備推進
- 川越産農産物のブランド化事業(再掲)
- おいしい川越農産物提供店認定制度(再掲)

具体的施策6

安心して出産・子育てが
できる環境をつくる
(すくすくかわごえ)

- 子育て体験学習の実施
- 若者のライフデザインの支援
- 出会いの仕掛けづくり
- 産前・産後を支えるための母子保健事業
- 多胎児産前産後ヘルパー派遣事業
- 川越市保育ステーション事業

具体的施策7

地域の価値を高め、
魅力あるまちをつくる

- 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築
- 食環境づくり推進事業
- 脱炭素化推進事業

具体的施策1

川越産業の活性化と若者の地元就業

【令和4年度 特定財源】

- 既存産業に対する環境整備
- ・預託金収入

【関連するSDGsゴール】



主な実施事業

1 若者に対する川越就業のための情報提供支援

(1) 企業情報、ビジネス支援サイト「川越きらり企業NAVI」の周知

地元企業の情報が掲載されている「川越きらり企業NAVI」について、埼玉県立川越総合高等学校での進路ガイダンスにおいて周知し、地元就労に関する情報提供を実施した。

(2) 「川越きらり企業NAVI」の更新

令和4年度KOEDO E-PRO奨励賞を受賞した企業に取材を行い、記事を掲載した。
(令和4年度末掲載企業数 83社)



2 市内企業への販路拡大支援

(1) 「川越ものづくりブランドKOEDO E-PRO」認定事業の実施

令和4年度認定企業として2社を認定し、市内外にPRした。また、9社の既存認定企業のPR事業に対し、補助を実施した。

(写真左 株式会社豊翔)
「急極冷凍システム『フードタイムマシン』」



(写真右 株式会社ブルーオーシャン研究所)
「みちびき準天頂衛星を活用したバイ型観測プラットフォーム」



事業の課題

「川越きらり企業NAVI」

サイトアクセス数が減少傾向にある。サイトの魅力を知ってもらうため、周知を強化していく必要があるほか、より一層の掲載企業拡大が望まれる。

「KOEDO E-PRO」

年々申請件数が減少傾向にあり、ブランドの認知力を向上させるため、制度の周知を図る必要がある。

具体的施策2

文化創造拠点の形成と創業支援(ものづくり長屋 川越)

【令和4年度 特定財源】

- 旧川越織物市場の整備
・社会資本整備総合交付金 ・地方債
- 旧川越織物市場の活用推進
・企業版ふるさと納税

【関連するSDGsゴール】



主な実施事業

1 旧川越織物市場の整備

(1) 旧川越織物市場東棟・西棟ほか整備工事の完了

令和2年度に契約締結した旧川越織物市場東棟・西棟ほか整備工事について、令和4年9月に完了した。



2 旧川越織物市場の活用推進

(1) 「川越市文化創造インキュベーション施設条例」の制定

市指定有形文化財である旧川越織物市場及び旧栄養食配給所を公開するとともに、新たな価値を創出する活動を行う事業者を支援することにより、市民の文化の向上及び地域産業の活性化に寄与することを目的に、施設の設置条例を制定した。

(2) 運営支援事業者の募集・選定の実施

市が直接運営する施設ではあるが、運営に伴う専門的な業務を委託するものとしており、その受注者の選定を公募型プロポーザル方式により実施し、業務委託契約を締結した。

事業の課題

「旧川越織物市場の整備」

今年度発注予定の外構等の工事分も含めて着実に進めていく必要がある。
また、復原後はインキュベーション施設として活用することから、文化財としての保存と活用の両立を図る必要がある。

「旧川越織物市場の活用推進」

令和6年春の開設に向け、より多くの利用者の応募や地域に根差した創造的活動の創出、本施設への誘客につなげるため、効果的に魅力発信を行う必要がある。

具体的施策3

川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

【令和4年度 特定財源】

・なし

【関連するSDGsゴール】



主な実施事業

1 川越産農産物のブランド化事業

(1) 川越産農産物のPR

川越産農産物の付加価値の向上やPRのため、ロゴシールやのぼり旗などの「おいしい川越」ロゴグッズの配布や、川越産農産物PRポスターの掲示を行った。



(2) 市外イベントでのPR

東京都豊島区で開催された「IKE・SUNPARK Farmers Market」に参加し、川越産農産物の直売を通して、PRを実施した。



2 おいしい川越農産物提供店認定制度

(1) おいしい川越農産物提供店の認定・PR

認定制度の周知を図った結果、令和4年度は新たに4件の認定を行い、累計19件となった。PRパンフレットを増刷、観光案内所等に配架・設置し、認定店舗の周知を図った。



【新規認定店舗】

- ・NOCTILUCA(ノクティルーカ) 川越市脇田本町16-26 嶋田ビル3F
- ・コエドボナペティ 川越市石原町1-18-3
- ・パティスリーシエル 川越市野田町2-1-38
- ・カフェ&キッチン ラフテル 川越市中原町1-5-17 2階

事業の課題

「川越産農産物のブランド化事業」

飲食店等に川越産農産物を活用していただくために、農業者と飲食店の交流の場を設けることや、新たな流通経路の構築が必要である。

「おいしい川越農産物提供店認定制度」

現在認定店舗は17店舗であり、認定制度の更なる周知が必要である。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等の実施が延期されている。

具体的施策4

川越を訪れるきっかけづくり

【令和4年度 特定財源】

- シティセールスの推進
- ・市制施行100周年記念事業基金

【関連するSDGsゴール】



主な実施事業

1 DMO川越の運営支援

(1) 「ファムトリップ」の実施

本市のインバウンドに係る強みの把握や課題を抽出するため、DMO川越が埼玉県による「彩の国観光振興地域協働事業補助金」の交付を受け、当補助金を活用して、外部のコンシェルジュやランドオペレーター等を招請して市内各所の実地訪問後にヒアリングする「ファムトリップ」を2日間にわたって実施した。



2 シティセールスの推進

(1) 「も〜っと！川越 PR動画大賞」の開催

市内の魅力ある地域資源を発掘し、映像による発信を行うことを目的に、PR動画を募集するコンテストを実施し、受賞作品等を、100周年記念式典のほか様々なイベント等で活用した。
応募数：117作品(91名)、受賞作品数：3作品

【最優秀賞】

受賞者：安藤 宏起氏、長谷川 詢氏

作品タイトル：川越市PR動画 - 私の大好きな街『川越』-



3 アフターコロナを見据えたインバウンドの推進事業

(1) デジタル技術を活用した受入れ環境整備

観光案内所にてタブレット端末を導入し、多言語での観光案内サービスを行った。
また、川越まつり会館及び旧山崎家別邸においてキャッシュレス決済を導入した。

事業の課題

「DMO川越の運営支援」

令和4年度は埼玉県の補助金を活用して事業を行うことができたものの、市補助金以外に収益の柱が構築されていない。収益事業の構築に向けて調査研究及び具体策立案を進め、できる限り早期に構築する必要がある。

具体的施策5

グリーンツーリズム拠点の整備(蔵 in ガルテン川越)

【令和4年度 特定財源】

- グリーンツーリズム整備推進
- ・地方債
- ・企業版ふるさと納税
- ・森林環境譲与税

【関連するSDGsゴール】



主な実施事業

1 グリーンツーリズム整備推進

(1) グリーンツーリズム拠点施設(農業ふれあいセンター)リニューアルオープン

令和4年11月に、カフェやバーベキュー場等を備えたグリーンツーリズム拠点施設がリニューアルオープンした。



記念式典のようす

(2) 農業体験等、ソフト事業の充実

農業体験は、38講座開催し、延べ5,188人の参加があった。また、川越の農産物の魅力や農業体験をPRするために、「わくわくグリーンツーリズム通信」を発行し、HP、Twitterのほか、公共施設や市内外の店舗等で発信・配布した。



(3) 企業版ふるさと納税人材派遣型の活用

第一生命保険株式会社と企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用した人事交流を行った。令和4年10月から令和7年3月末まで、本事業に従事する予定。



左:川会農明市長 右:上原孝之川越支社長(第一生命保険株式会社)

事業の課題

「グリーンツーリズム整備推進」

改修整備後のグリーンツーリズム拠点施設について、効果的な運営が出来るよう、委託業者と協議しながら取組を進めていく必要がある。また、川越の農業のPRや、体験などソフト事業の磨き上げとそれを担う人材育成を図るとともに、市内のグリーンツーリズムを行う施設との連携を行っていく必要がある。

具体的施策6

安心して出産・子育てができる環境をつくる(すくすく かわごえ)

【令和4年度 特定財源】

- 若者のライフデザイン支援
- ・市制施行100周年記念事業基金
- 産前・産後を支えるための母子保健事業
- ・重層的支援体制整備事業交付金(国・県)
- ・母子保健衛生費国庫補助
- 川越市保育ステーション事業
- ・保育対策総合支援事業費補助金

【関連するSDGsゴール】



主な実施事業

1 若者のライフデザインの支援

(1) 市制施行100周年事業「若者のライフデザインセミナー」

令和4年12月18日(日)、市制施行100周年事業として、第一生命保険株式会社との共催で「若者のライフデザインセミナー」を開催。講師による講演及びワークショップを通じて、若い世代が将来について考える機会とした。また、イベントの事前及び事後にアンケートを実施し、参加者の意識の変容についても調査を行った。(参加者:10代~20代の男女44名)



ライブ配信での講演



グループワーク



生涯設計体験会

2 川越市保育ステーション事業

子育て安心施設「すくすくかわごえ」において、送迎保育・一時預かり事業を実施。

【送迎保育】

利用登録者数 5名 延べ利用人数 50名

【一時預かり事業】

利用登録者数 257名 延べ利用人数 2,039名



保育ステーション



一時預かりイメージ

事業の課題

「川越市保育ステーション事業」

送迎保育利用者数の向上、送迎保育について保護者と在籍している保育所等とのコミュニケーションが不足することが課題となっている。

具体的施策7

地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

【令和4年度 特定財源】

- 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築
 - ・企業版ふるさと納税
- 食環境づくり推進事業
 - ・企業版ふるさと納税
- 脱炭素化推進事業
 - ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

【関連するSDGsゴール】



主な実施事業

1 食環境づくり推進事業

(1) 対象地区の健康・栄養課題の抽出

大東地区を対象地区とし、健康・栄養課題の抽出及び実態把握のため、「健康・食生活に関するアンケート調査」を実施した。

(2) 川越市健康づくり協力店制度の実施

市HP、川越商工会議所広報などで制度の周知を行い、令和4年度に4店舗を新規登録した。



(3) 食環境整備の準備・実施

民間企業と連携し、PR等の協力依頼を行った。(川越総合卸売市場株式会社、彩裕フーズ株式会社、株式会社良品計画、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、川越商工会議所)

また、従業員の尿中ナトカリ比を測定し、自身の健康意識の向上を図った。

(1企業49名参加)

2 脱炭素化推進事業

(1) 補助金による導入促進

省エネルギー性能の高いエアコン、太陽光発電システム、太陽熱利用システム、エネファーム、蓄電池、V2Hを設置する市民や、太陽光発電システムを自らの事業所に設置する事業者に補助金を交付した。

(2) 連携協定による取組の推進

令和4年8月に、武州ガス株式会社及び東京ガス株式会社と、令和5年1月に東京電力パワーグリッド株式会社と「脱炭素社会」に向けた協定を締結し、連携した取り組みの検討を実施した。



武州ガス株式会社・東京ガス株式会社



東京電力パワーグリッド株式会社

事業の課題

「脱炭素化推進事業」

2050年脱炭素社会の実現に向けては、共通認識を持って事業を行う必要がある。

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 政策目標

令和7年時点で	実績値	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年
◆総人口350,000人以上を維持		353,301	353,260	353,235	353,183			
◆年少人口43,000人台、 生産年齢人口213,000人台を維持		43,700	43,228	42,496	41,718			
		215,555	215,066	215,262	216,047			

(単位:人。川越市住民基本台帳より。各年1月1日時点)

基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

数値目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市内総生産額(億円/年)※	目標値	12,797	12,849	12,902	12,955	13,008
	実績値	12,610 (H30)	12,610 (H30)	13,365 (R2)		

※実績値については、各年度の評価を行った時点で把握できた数値を記載しています。

重要業績評価指標(KPI)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ものづくりブランド認定の累計数(件/年)	目標値	50	55	60	65	70
	実績値	43	45	47		
農業産出額(千万円/年)	目標値	-	-	-	-	1,500
	実績値	748 (R1)	702 (R2)	648 (R3)		

具体的施策1 川越産業の活性化と若者の地元就業

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 若者に対する川越就業のための情報提供支援(雇用支援課)	あり	改善し推進
2. 若者に対する川越就業のための情報提供支援(産業振興課)	あり	現状通り推進
3. 市内企業への販路拡大支援	あり	現状通り推進
4. 既存産業に対する環境整備	なし	現状通り推進
5. 創業支援	なし	現状通り推進

【主な意見】

- ・KOEDO E-PROIについて、認定された企業さんのメリットや付加価値を向上させることができないか。また、業種を広げるなど、川越市でキラリ光る企業にスポットを当てる制度にできればと思う。
- ・地元企業の人材確保が課題になっている。若者への情報提供支援を目的とした「川越きり企業NAVI」事業の活性化を図るのはどうか。
- ・若者の起業が増加している印象がある。「しごと」を川越で始める環境が整ってきているのではないか。
- ・川越での創業ニーズは高い。川越がスタートアップのまちになればよいのではないか。

具体的施策2 文化創造拠点の形成と創業支援(ものづくり長屋 川越)

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 旧川越織物市場の整備	あり	現状通り推進
2. 旧川越織物市場の活用推進	あり	現状通り推進
3. 立門前線(歴史的地区環境整備街路)の整備	あり	現状通り推進
4. 創業支援(1-1-5の再掲)	なし	現状通り推進

【主な意見】

- ・創業支援を行う旧川越織物市場への入居を促すためには、インキュベーション施設の情報を感度の高い人に届けるためのプロモーションツールが必要ではないか。
- ・旧川越織物市場は、観光以外の側面でのどのように発展するか興味深い。地元市民を含む教育・カルチャー需要を取り込む工夫も欲しい。定期的なイベントなどを通じて、川越市民が楽しんで夢中になれるような文化的発信を行い、自然と創造的な人材が集まるシンボリックな存在になってほしい。

具体的施策3 川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 川越産農産物のブランド化事業	あり	改善し推進
2. おいしい川越農産物提供店認定制度	あり	改善し推進

【主な意見】

- ・地元産の野菜を使いたい事業者は多い印象がある。6次化するには、地元産野菜の流通が課題になるのではないか。

基本目標2 他地域とのつながりを築き、川越への新しいひとの流れをつくる

数値目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
観光客数(万人/年)	目標値	726	732	738	744	750
	実績値	385	392	550.9		

重要業績評価指標(KPI)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
観光時間半日以上の観光客の割合(%)	目標値	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0
	実績値	69.5	22.6	25.7		

具体的施策4 川越を訪れるきっかけづくり

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. DMO川越の運営支援	あり	改善し推進
2. シティセールスの推進	あり	現状通り推進
3. 広域観光の促進事業	なし	現状通り推進
4. アフターコロナを見据えたインバウンドの推進事業	あり	改善し推進

【主な意見】

・(観光全般に対し)旅行客にお金を出してもらうことも重要だが、観光資源があることで地元の市民が恩恵や豊かさを感じられる仕組み、地元の市民も楽しめる仕掛けも織り込んでいくべきではないか。

具体的施策5 グリーンツーリズム拠点の整備(蔵inガルテン 川越)

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. グリーンツーリズム整備推進(蔵inガルテン川越)	あり	改善し推進
2. 川越産農産物のブランド化事業(1-3-1の再掲)	あり	改善し推進
3. おいしい川越農産物提供店認定制度(1-3-2の再掲)	あり	改善し推進

【主な意見】

・農業体験をきっかけに、少しでも農業に興味をもってくれる子どもが出てくればよいのではないかと。

・観光需要の時間的・地理的集中を避け、年間を通じて川越市民を含む個人や学校等の団体客を安定的に受け入れられる仕組みを作ることができそうな点に将来性を感じる。武蔵野の落ち葉堆肥農法といった循環型農法の拠点をグリーンツーリズムのひとつとして取り入れてほしい。

・キャンプ場の計画もあるが、水辺の設置など遊べる施設にしてほしい。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子育て世帯の転入数(世帯/年)	目標値	985以上	985以上	985以上	985以上	985以上
	実績値	922	921	1034		

重要業績評価指標(KPI)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ファミリー・サポート・センター依頼会員実利用者数(人/年)	目標値	310	320	330	340	350
	実績値	181	188	181		
保育園待機児童数(人)	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	2	7	8		

具体的施策6 安心して出産・子育てができる環境をつくる(すくすくかわごえ)

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 子育て体験学習の実施	あり	現状通り推進
2. 若者のライフデザインの支援	あり	改善し推進
3. 出会いの仕掛けづくり	あり	改善し推進
4. 産前・産後を支えるための母子保健事業	あり	現状通り推進
5. 多胎児産前産後ヘルパー派遣事業	あり	現状通り推進
6. 川越市保育ステーション事業	あり	改善し推進

【主な意見】

- ・若者のライフデザイン支援について、将来を考えるきっかけを与え、実際に考えることは重要だと感じている。
- ・川越市保育ステーション事業について、送迎保育は利用者も少ないことから検討が必要ではないか。

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる地域をつくる

数値目標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
歴史的町並み景観を形成している地域の歩行者・自転車通行量(人/年)	目標値		85,800	94,600	103,400	112,200	121,000
	実績値	68,273	71,659	75,018			
健康寿命(年)	目標値		男 17.75 女 20.39	男 17.82 女 20.50	男 17.89 女 20.61	男 17.96 女 20.72	男 18.06 女 20.81
	実績値	男 17.67 女 20.32	男 17.85 女 20.48 (R2)	男 18.01 女 20.66 (R3)			
市域における温室効果ガス排出量(千t-CO2/年)	目標値		1,955	1,921	1,887	1,853	1,819
	実績値	1,880 (H30)	1,880 (H30)	1,632 (R1)			

重要業績評価指標(KPI)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
歴みち事業の整備率(%)	目標値		50.1	51.1	52.1	53.2	54.3
	実績値	49.1	55.0	58.0			
三大生活習慣病死亡数の比率(%)	目標値		53.5	53.3	53.2	53.1	53.0
	実績値(※)	53.8 (H28-H30)	53.1 (H29-R元)	52.8 (H30-R2)			
環境指標の目標値達成状況(%)	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
	実績値	32.0 (R元)	34.0 (R2)	40.0 (R3)			

※3か年の平均値。

具体的施策7 地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築	あり	改善し推進
2. 食環境づくり推進事業	あり	現状通り推進
3. 脱炭素化推進事業	あり	改善し推進

【主な意見】

・脱炭素化推進事業について「企業の脱炭素の見える化」に取り組んでいる自治体もある。

【その他、全体を通じた意見】

・デジタル技術の活用について、川越らしいところとデジタルを絡めると、伸びるところがあるのではないか。

・デジタル化はどの分野に集中していくかが重要。数年ではなく、どのように長期的に継続性を持たせるか、戦略的に対応することが重要だ。

・人口は、生産年齢人口がカギになるのではないか。住環境や就業施設数(働く場の数)が重要になるのではないか。



川越市シンボルマーク